

河竹黙阿弥 作

三人吉三巴白狼

美術 鳥居清光
照明 塚原 清
音楽 杵屋佐之忠
衣裳 伊藤 静夫

月も朧に白魚の
鷺もかすむ春の空

つめて八風もほろ酔ひに
心持ちよく滯か〜と
浮れ鳥の只一羽端へ帰る山端で
掉の乗か濡れ手で泡
思ひがけなく手に入る百両

「御厄掃ひませら 厄落じ」
ほんに今夜は節分か
西の海ふり山の中落ちた夜鷹は厄落じ
豆沢山で一文の銭と違つて金ごみ
このツア春かあ
縁起がゆいわえ

熱気あふれる楽しい舞台!!



お嬢吉三
河原崎國太郎

和尚吉三
藤川矢之輔

お坊吉三
瀬川菊之丞

2002年 9月27日(金) 午後6時開演
会 場 / 京都芸術劇場 春秋座
料 金 / 7,000円(当日7,500円)・学生2,000円
お問合せ・お申込み 劇団 前進座 京都営業所
TEL 075(561)6300
主 催 / 劇団前進座・京都造形芸術大学



- JR京都駅/京阪三条駅/阪急河原町駅より市バス⑤岩倉行「上終町京都造形芸大前」下車
- 京阪「出町柳」→叡山電車「茶山」駅下車
- 地下鉄「北大路駅」より市バス204循環「上終町京都造形芸大前」下車
- 劇場には駐車場がありません。車での御来場は御遠慮ください。

京都芸術劇場 春秋座
TEL075(791)8240
京都市左京区北白川瓜生山2-116
京都芸術劇場企画運営室



松涛喜八郎



柳生 啓介



河原崎國太郎



瀬川菊之丞



姉川新之輔



益城 宏



藤川矢之輔



小佐川源次郎



市川祥之助



鈴木 大



菊池 亮



松永 啓



亀井 栄克



栗沢 学



山崎 杏佳

三人吉三白浪

さんにんきちさんともえのりめなみ

あらすじ

安森源次兵衛は、主家より預かった名刀庚申丸を盗まれて切腹、家は取り潰しとなる。それがもとで、息子の吉三郎は、ぐれて盗人お坊吉三を名乗っている。

その後、庚申丸が百両の金に姿をかえ何人かの手に渡るうち、百両をめくって名うての盗賊お嬢吉三、お坊吉三、和尚吉三が大川端で出会い、義兄弟の血盃をかわす。

しかし、悪事を重ねた三人には、さまざまな因縁がからんでいた。追いつめられた三人吉三は、本郷火の見櫓辺りで大立ち回りを繰りひろげ――。



『三人吉三』に期待

桂 米朝



『曾根崎心中』は戦後、先代と当代の鴈治郎さんが復活上演して、何百年ぶりに陽の目をみた近松の傑作です。それが大人気狂言になったのは、名演技もさることながら、発端から最後まで通して上演されたからです。

芝居は通してみてもそ本当の面白さがわかります。『三人吉三』も大川端の場だけはよく出る。「月も朧に白魚の……」セリフは有名ですが、どうして三人があそこに集まるのか、その後どうなるのか……は御存じのお方は少ないと思います。この狂言の通しはめつたに出ません。この機会に見てやって下さい。

「江戸歌舞伎の大問屋」といわれ、特に白浪物（盗賊を扱った歌舞伎狂言）に抜群の才筆をみせた河竹黙阿弥四十五才の会心作。初演は安政七（一八六〇）年。明治維新から遡ること八年前。

歴史の転換期のまっただなかに、身をおいた人間でなくては、伝えることのできぬ”人間の闇”が鮮明に光りと華に縁だらけて浮き上がってくる究極の因果ドラマ。

月も朧に白魚の
篝もかすむ春の空……

おなじみの名セリフのせて、黙阿弥の生世話の世界を存分にお楽しみ下さい。

* * *

『魚屋宗五郎』『切られお富』『解脱衣楓累』『天衣粉上野初花』『四千両小判梅葉』と生世話の世界にヒットを重ねる前進座が贈る今年一番の話題作。